



沿線地域の発展と快適性の向上

北海道新幹線 栄原高架橋特定建設工事

鉄建・徳倉・工藤建設共同企業体

北海道新幹線は、函館北斗から札幌市までの200kmの路線躯体の整備を行っています。弊社は、長万部から倶知安駅間の「栄原高架橋」の施工に携わっています。

工事概要

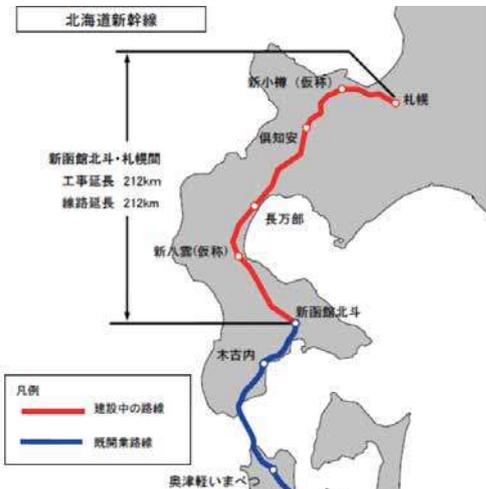
	全体	TOM 施工範囲
ラーメン高架橋	26連	10連
RC場所打T桁橋	42連	16連
R C 橋脚	32基	8基



第3栄原BL※ P1掘削、P2基礎CON



第4栄原BL※ P3上部梁底組立



出典：JR TT 鉄道・運輸機構（略称）

※BL：高架橋



統括本部

取締役本部長 草野 昭男（勤続51年）原町工業高校 卒

2023年12月から本格的に工事が始まり、当初は東北地区の協力会社さんと工事を進めていましたが、工事の本格化に伴い地元北海道の会社さんからも労務提供をいただき工事を進めています。この辺りは、北海道でも豪雪地域で、冬季の施工は苦勞が絶えないと思いますが、社会基盤の整備と沿線地域の豊かさをつなぐ工事を当社の社員と協力会社さん、作業員さんと共に、額に汗して日々、仕事の達成感を感じながら取り組むことが、人間性、技術・技能、管理力の向上と確信し、自らの管理業務に邁進してまいります。

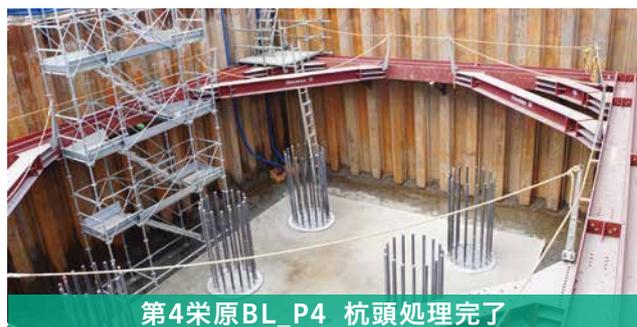
統括本部 工務部 工事課

佐々木 裕（勤続1年）国立鶴岡工業高等専門学校

長万部は人口4,000人ほどの街で、現在は、工事関係者が多く作業員さんの宿泊場所を手配するのにも苦勞しています。また、この近辺は工事が多く、資機材の確保も難しく先を読んで手配をしないと工事に間に合わないこともあります。ですが、上司や協力会社の方々から優しく丁寧に教えていただけるので、とても環境に恵まれていることに感謝しています。土木の仕事は、多くの人のためになる仕事ですから、社会や地域のためになる良い施工をします。そして、私自身も管理能力、人間力を磨き日々成長したいと思います。



第3栄原BL_P2 基礎CON打設前



第4栄原BL_P4 杭頭処理完了